

# 鳥取縣公報

第 千 六 十 五 號

昭和十四年九月十九日

火 躍 日

本報ノ大キサ圖定規格A5判

縣 令

◇鳥取縣令第二十六號

昭和十三年十一月鳥取縣令第五十九號干甘諸検査規則左ノ通改正ス

和昭十四年九月十九日

鳥取縣知事

副

見

喬

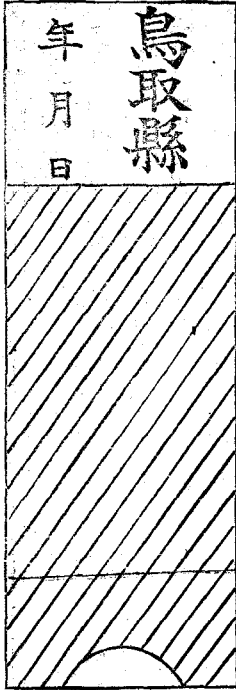
雄

附 則

第六條ノ検査等級ハ酒精原料ニ供スル干甘諸ニ限リ當分ノ内之ヲ合格及格外トス  
前項ノ干甘諸ニ用フル封緘紙ハ左ノ通之ヲ定ム

封緘紙(雛形) 長 一五浬 幅 三浬 刷色 青

合 格



斜 線 色 刷

鳥取縣公報

毎週曜日發行

(休日ニ當ル時ハ翌日)

昭和十四年九月十九日 第千六百十五號

(昭和四年四月十五日) 第三種郵便物認可

一

格 外

# 鳥取縣

年 月 日

全 部 色 刷

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## 告 示

鳥取縣告示第五百八十五號

早害地灌溉應急措置補助規程左ノ通定ム

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事

副

喬

雄

### 早 害 地 灌 溉 應 急 措 置 補 助 規 程

第一條 昭和十四年ニ於ケル水稻早害地灌溉應急措置(以下單ニ措置ト稱ス)ヲ助成シ以テ米穀ノ生産確保ヲ期スル爲左ニ掲グル費用ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス 但シ措置ノ爲支出シタル費用ニシテ他ヨリ助成金或ハ寄附金等ヲ受ケタルモノニ對シテハ此ノ限リニ非ラズ

知事ノ適當ト認ムル團體ノ施設ル揚水機及其ノ附屬ノ件ノ購入費又ハ借入費

揚水機ニ使用セル燃料購入費又ハ電力料費 但シ既設ル水機ニ使用セルモノニ付テハ既往ニケ年間ニ於ケル平均使用量ヲ超過セル分ニ對シ之ヲ認ム

三 知事ノ適當ト認ムル團體ノ施行セル堀井戸其ノ他ノ用水施設ノ工事費

第二條 補助金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル

一 前條第一號ノ費用ニ在リテハ其ノ購入費又ハ借入費ノ二分ノ一以內

二 前條第二號ノ費用ニ在リテハ其ノ購入費又ハ電力料費ノ五分ノ一以內

三 前條第三號ノ費用ニ在リテハ其ノ工事費ノ三分ノ一以內

第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書(第一號様式)ニ豫定書(第二號様式)ヲ添附シ昭和十四年九月三十日迄ニ提出スベシ

法人ニ在リテハ當該事業ニ關スル收支豫算書ヲ添附スベシ

法人ニ非ザル團體ニ在リテハ代表者ヲ定メ其ノ代表者タルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第四條 豫定書ヲ變更セントスルトキハ變更豫定書ニ理由ヲ附シ遲滞ナク届出ヅベシ

第五條 措置終了シタルトキハ第三號様式ニ依ル届書ニ第四號様式ノ清算書及第五號様式ノ成績書ヲ添附シ昭和十四年十月十日迄ニ提出スベシ

第六條 前條ノ届書ヲ受理シタルトキハ實地検査ノ上費用ノ支出清算額ニ對シ査定ノ上補助金ヲ交附ス

第七條 補助金ノ交附ヲ受ケントスル者ハ事務所ヲ設ケ措置ノ狀況、費用ノ收支其ノ他措置ニ關スル事項ヲ明ニスベキ書類及帳簿ヲ備付クベシ

第八條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ニ對シテハ當該官吏吏員ヲシテ關係書類、帳簿及物件ヲ検査セシムルコトアルベシ



|   |    |     |    |
|---|----|-----|----|
| 計 | 何々 | 集水渠 | 假堰 |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |
|   |    |     |    |

備考

(一) 摘要欄ニハ各施設ノ費用算出ノ基礎ヲ記入スルコト

揚水機竝原動機ノ種類及口徑、馬力數等ハ必ズ本欄ニ記入スルコト

(二) 施行箇所欄ニハ町村、大字、字、地番ヲ記入スルコト

第三號様式

早害地灌漑應急措置終了届

昭和 年 月 日 附申請ニ依ル早害地灌漑應急措置ハ昭和 年 月 日

終了致候ニ付別紙清算書添付此段及御届候也

年 月 日

住所

氏

名印

知事宛

第四號様式

昭和 年度 收入 支出 清算書

|   |   |     |   |   |
|---|---|-----|---|---|
| 科 | 目 | 收入額 | 附 | 記 |
|   |   | 圓   |   |   |
| 計 |   |     |   |   |

支出

|   |   |    |     |   |   |
|---|---|----|-----|---|---|
| 科 | 目 | 算額 | 支出額 | 附 | 記 |
|   |   | 圓  | 圓   |   |   |
| 計 |   |    |     |   |   |

第五號様式

備考 科目欄ニハ第二號様式ノ区分欄ノ如ク詳細記入スルコト  
早害地灌漑應急措置成績書

| 計 | 區分 | 豫定 | 實績 | 同  |     | 摘 |
|---|----|----|----|----|-----|---|
|   |    |    |    | 受益 | 地積上 |   |
|   |    |    |    | 反  |     |   |
|   |    |    |    |    |     |   |
|   |    |    |    |    |     |   |
|   |    |    |    |    |     |   |

備考

區分欄ニハ第二號様式ノ區分欄ノ如ク詳細記入スルコト

鳥取縣告示第五百八十六號

昭和十四年九月十九日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證再下付セリ

依而同日以後舊番號ニ依ル免許證ハ無効トス

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

新免許證番號

舊免許證番號

住

所

氏

名

一、二一七

七五七

氣高縣小鷺河村大字鷺峯八百七拾番地

田中 仲藏

鳥取縣告示第五百八十七號

昭和十四年九月十九日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證ヲ下附セリ

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

免許證番號

住

所

氏

名

一、二一三

米子市陰田町四百參拾八番地

倉敷 富三郎

一、二一四

八頭郡隼村大字上野貳百四拾貳番地

木下 巖

一、二一五

日野郡日光村大字吉原千七百九拾番地壹

千藤 正顯

一、二一六

東伯郡古布庄村大字法万參拾番屋敷

金坂 義信

鳥取縣告示第五百八十八號

畜牛結核病豫防法施行規則第三條第一項ニ依リ畜牛結核病検査左ノ通施行ス依ツテ乳用牛及施外國種々牡牛及ノ所有者又ハ管理者ハ所定ノ検査所ニ該畜牛ヲ牽付検査ヲ受クベシ

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

検査期日

検査場所

検査區域

昭和十四年

十一月五日

東伯郡倉吉町東町

同 八七日

同 小鴨村福守

|     |      |   |        |
|-----|------|---|--------|
| 同   | 十九日  | 同 | 小鴨村生田  |
| 同   | 十二日  | 同 | 社村大谷   |
| 同   | 十三日  | 同 | 高城村上福田 |
| 同   | 十五日  | 同 | 上北條村中江 |
| 同   | 十七日  | 同 | 上北條村穴窪 |
| 同   | 二十四日 | 同 | 長瀬村長瀬  |
| 同   | 二十六日 | 同 | 淺津村南谷  |
| 同   | 二十八日 | 同 | 三徳村片柴  |
| 十二月 | 二日   | 同 | 逢東村鈴野  |
| 同   | 四日   | 同 | 赤崎町赤碓  |

東伯郡一圓

昭和十四年九月十九日  
鳥取縣公報 第六千六百五十五號

鳥取縣告示第五百八十九號  
鳥取縣商工更生委員規程左ノ通定ム

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄  
鳥取縣 商工更生委員規程

第一條 物資需給調整ニ伴フ商工業者ノ休失業狀況ノ調査並ニ休失業商工業者ノ事業ノ維持及轉換ニ關スル指導斡旋ニ當ラシムル爲商工更生委員ヲ置ク

第二條 商工更生委員ハ知事ノ監督ニ屬シ互助共濟ノ精神ヲ以テ前條ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル諸般ノ事務ニ從事ス

第三條 商工更生委員ノ定數ハ總數三〇〇人以内ニ於テ知事商工地區毎ニ之ヲ定ム

前項ノ商工地區ハ知事之ヲ定ム

第四條 商工更生委員ハ知事之ヲ囑託ス

商工更生委員ハ名譽職トス

第五條 商工更生委員ハ第三條ノ商工地區毎ニ商工更生委員會ヲ組織スベシ

商工更生委員會ハ知事ノ監督ニ屬シ商工更生委員ノ職務ノ連絡ヲ圖ル知事必要アリト認ムルトキハ關係市町村長其ノ他適當ナル者ヲシテ商工更生委員會ノ組織ニ加ハラシムルコトヲ得

關係各廳官吏ハ商工更生委員會ニ出願シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第六條 商工更生委員ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル秘密ヲ漏洩スルコトヲ得ズ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鳥取縣公報 第六千六百五十五號  
昭和十四年九月十九日

鳥取縣告示第五百九十號

「コレラ」豫防ノ爲左記ノ通縣令公布ノ旨兵庫縣ヨリ通報アリタリ  
昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

兵庫縣令第四八號

「コレラ」豫防ノ爲傳染病豫防法第十九條ニ依リ當分ノ内神戸港灣内(神戸市和田岬ヨリ葺合港灣ニ至ル)ノ海面並ニ同海面ニ流入スル河川ニシテ滿潮時ニ海水ノ到達スル地點ヨリ下流ノ海水ノ使用及同區域ニ於ケル漁撈具類海藻類ノ採取遊泳並ニ同區域ヲ生簀ノマ、通過シタル魚貝類ノ陸上ヲ停止ス之ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年九月十日

兵庫縣知事 坂 千 秋

鳥取縣告示第五百九十一號

米子市 管下 西伯郡 畜産組合ニ對シ大幡臨時家畜市場開設ノ事 九月十八日付認可セリ

昭和十四年九月十九日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄  
一 市場ノ名稱 大幡臨時家畜市場  
位 置 鳥取縣西伯郡大幡村字岸本三二四番地

彙報

三 開設者氏名 鳥取縣 米子市 畜産組合  
四 開場ノ日時 昭和十四年九月二十三日  
五 取扱フ家畜種類 馬  
六 家畜ノ賣買交換區域 米子市 一圓 但大山村ヲ除ク  
七 家畜ノ賣買交換期間 市場 開 催 日

六 發見ノ日時及場所

一 取 扱 人 石川縣河北郡俱利伽羅村長  
二 本籍、住所、職業、氏名、年令等不詳ナルモ一見三十歳位ノ男子

三人 相

四 着 衣 丈五尺三寸位、中肉、面長、其ノ他並

五 遺 留 物 件 茶色羅紗合服上下(但シ四分五裂全形ヲ認メズ)木綿ノ一ネクタイシャツ、靴下、赤短靴(但片方不明)

手帳一冊、シユーズ二個、鐵道旅行地圖一枚、御守札數葉洗面袋一個

七 死因及死後經過時間

線路上ニテ發見  
斃死ニシテ死後約八時間ヲ經過セルモノト認メラル  
右屍体ハ檢視ノ上同日同村竹橋共同墓地ニ假埋葬ヲナス  
右心當ノ向ハ直接當該村長宛照會相成度

一 取 扱 人 德島縣麻植郡川田町長  
一 住 所、氏 名 不詳 女  
推定年齢六十五歳位、体格瘦形、身長四尺五、六寸、

髮白髮ヲ交エ、顔面長、色白、口、眼、耳、鼻、普通着衣、小型龜子模様ノ細紐、木綿ノ襦袢、茶襟子織ノ英ナル腰巻、モスノ綿入腰當、ガーゼノハンカチヲ帶ニ括ム

所持品ナシ

右ハ昭和十四年八月十八日德島縣麻植郡川田町宇北島北島渡船場約參町位下流吉野川礫原ニ於テ溺死セルニ付假埋葬ニ附ス

心當ノ向ハ直接當該町長宛照會相成度候

行 旅 死 亡 人

一 取 扱 人 岡山縣上道郡高島村長

一本籍、住所、職業、氏名、年齢等不詳ナルモ推定年齢四十七歳前後ノ男子

身長五尺一寸位、頭髮中刈、中肉

一 着 衣

ランニング襦袢ノ上ニ白シャツ、紺サージズボン、黒足袋、裏タイヤ付黒鼻緒草履

一 遺 留 物 件

手製毛腹巻一枚、タオル無印一筋、手拭(藤原藥局)印入一筋、風呂敷大小三枚、剃刀一個認印一個(本 孫)、茶ノバンド一本、腹巻中ニ蓋口(横二寸五分縱四寸五分)現金五拾六圓六十四錢在中

一 發 見 ノ 日 時 場 所

昭和十四年八月二十七日上道郡高島村大字、礫園地内龍ノ

一 口山中五郎谷ニテ死体發見、死後十日餘ヲ經過セルモノト認メラル、右死体ハ同日同村共同墓地ニ假埋葬ヲナス

心當ノ向ハ直接當該町長宛照會相成度

行 旅 死 亡 人

一 取 扱 人 長野縣南佐久郡榮村長

一 自稱本籍 靜岡縣濱松市森田町 上 原 富 重 當 五十九才

一 人 相 細顔中肉中脊ニシテ眼ハソコヒ眼

一 遺留物件 保管中

集印帳四冊、剃刀一、眞鍮製ロソク立(高サ二寸)一對、ナイフ一、珠數一鈴(眞鍮製)一、爪切一、羽織紐一、懷鐘一、白糸巻一、針一、銅製フシ銅一、善光寺札二十枚、威徳院メタル一、珠數玉五八、消毒藥一包

右心當ノ向ハ直接當該町長宛照會相成度

行 旅 死 亡 人

一 取 扱 人 長野縣諏訪郡上諏訪町長

一本籍、在所、氏名 不詳 女屍体一 推定年齢十八、九才位

身長五尺、丸顔、其他普通、着衣白地ニ黒目ノ薔薇牡丹模様ノボイル單衣、壁紙友仙赤ノ波ニツノミヲ配シタル模様ノ名古屋帯白ボイルノ腰巻ヲ着ス

一 所持品 ナシ

右ハ八月一日午前七時三十分發見シタル者ニシテ諏訪湖内上訪諏地籍ニテ覺悟ノ投身自殺セルモノノ如シ、變死後入水約四十時間ヲ經過スルモノト推定依ツテ假埋葬セリ

右心當ノ向ハ直接當該町長宛照會相成度

通 牒

發地第一九八號

昭和十四年九月十二日

市 町 村 長 總 務 部 長

水 利 組 合 管 理 者 殿

水 害 豫 防 組 合 殿

昭和十四年度豫算執行ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ本年五月十六日受地第一、七一四號同六月六日受地第一、九三四號同六月三十日受地第二、一〇五號依命通牒ニ依リ適當措置セテレッツ、アルコトト存候へ共今回政府ニ於テハ昭和十四年度豫算ニ關シ實行豫算ヲ編成シ客月二十五日閣議決定ヲ經テ政府自ラ經費節約ノ徹底の勵行ヲ圖ラル、コトト相成候ニ付テハ右ノ趣旨ニ基キ市町村水利組合水害豫防組合豫算ニ付テモ之ガ實行ニ關シ一段ノ御配意相成度此段依命及通牒候

發社第六五〇號

昭和十四年九月十二日

市 町 村 長 學 務 部 長





- (2) 所謂「凱旋氣分」「御祭騒ギ」ヲ絶對ニ排ス
- (3) 防諜ニ萬全ノ努力ヲ拂ハレタシ

二、鐵道輸送途中ノ歡迎

- (1) 停車驛ト雖モ汽車ノ沿道又ハ驛ニ於ケル團體ノ出迎ヘ及父兄トノ面會ハ許サレズ但沿道、田畑、工場等ヨリ其ノ附近ニ在ル者ガ之ヲ歡迎スルハ可ナリ
- (2) 時宜ニ依リ一部ノ代表者ノ出迎ヲ認ム但其ノ時刻ハ最寄驛長ヨリ通知ス
- (3) 停車驛ニ於ケル各種婦人會等ノ奉仕ハ之ヲ認ム

三、下車驛ニ於ケル歡迎

- (1) 「フオーム」入場者ハ各團體長ノミ最少限トス
- (2) 到着時刻ノ通報ハ從前ノ例ニ依ル
- (3) 各種團體ハ沿道ニ堵列歡迎スルコト從前ノ如シ但シ余リ大袈裟ニナラザルコト
- (4) 各種團體ノ歡迎ニハ幟ヲ廢シ小國旗ヲ用フルコト
- (5) 父兄ハ「フオーム」ニ入場セシメズ又驛附近ニ於テ一切面會ヲ許サズ從ツテ父兄ガ驛ニ出迎フルコトハ意味ヲナサザルヲ以テ充分ニ之ヲ徹底セシムルコト

四、市町村及父兄ノ歡迎、出迎

- (1) 市町村等ニテ大「アーチ」ノ如キモノヲ建設スルコトハ差控フルコト
- (2) 市町村代表或ハ父兄カ遠隔ノ地ヨリ下車驛又ハ除隊當日營門等ニ出迎ヘ殺到シ所謂「戰終リテ凱旋」ノ如キ歡迎ハ止メ召テ解除サレテ市町村最近ノ驛又ハ市町村ノ境ヲ超ニル時、始

メテ精神的ノ歡迎ヲナスコト

- (3) 召集解除ハ本人ヨリ各家庭ニ通信セシメ各家庭ヨリ役場ニ通知スル如クス
- (4) 市町村ニ於テ行フ歡迎會ハ極メテ簡素ニシテ精神的ニ行ヒ神前報告ニ止ムルコト
- (5) 歡迎會ノ席上防諜上ノ問題ヲ惹起セル例多シ特ニ留意セラレタシ
- (6) 各家庭等ニテ祝宴等ヲ催スコトハ戰死者遺族ニモ思ヲ致シ禁止セシメラル、コト
- (7) 歸郷者ハ市町村ニ入ラス直チニ神前報告、祖先墓參、廻禮、遺族訪問等ヲナシタル後家庭ニ入ル如ク飽ク迄日本武人ラシク振舞フ様指導スルコト
- (8) 他ノ例ニ依ルニ召集解除後相當日ヲ經タル後ナレハ歡迎會等差支ヘナシト考ヘ各種ノ名目ノ下ニ歡迎宴ヲ催ス傾向アリ特ニ注意セラレタシ

五、面會

- (1) 既述セル如ク沿道及下車驛ニ於ケル面會ハ一切許サレズ
- (2) 面會ヲ許サル、日時ハ夫々本人ヨリ各家庭ニ通信セルム
- (3) 其ノ通信文ニハ「面會許可ノ證」トアルヲ以テ面會者ハ必ス之ヲ持參スルコト(各家庭ニ一人)又召集解除セラル、者ニハ面會ノ際除隊用ノ被服ヲ携行スルコト
- (4) 面會ニ際シテ飲食物ハ絶對ニ營内持入ヲ許サレズ
- (5) 右ノ次第ナルヲ以テ通知ナキ家族カ兵營ニ面會ニ來ルモ無意義ナルヲ以テ此ノ點充分徹底セシメラレタシ
- (6) 將校ト雖モ特例ヲ認メラレズ

- (7) 市町村長、郷軍分會長モ右ニ準ズ
- (8) 六 歸還兵歸郷ニ際シテハ絶對ニ土産物等ノ配付ヲナサザル様軍ニ於テ指導セラル、ニ付此ノ點

